

2011年12月22日

富士の国やまなし国文祭 開幕1年前イベント 甲府駅改札前に長大な「甲府道祖神幕絵」が展示されます！

2013年に開催される第28回国民文化祭・やまなし2013（愛称名：富士の国やまなし国文祭）の開幕1年前イベントとして、2011年12月26日（月）～2012年1月17日（火）の間、甲府駅改札口前及び北口ペDESTロリアンデッキに、甲府道祖神幕絵（複製）等の長さが10mを超える長大な幕絵が展示されます。

「幕絵」は、江戸時代に甲府で行われた甲府道祖神祭の際に、甲府城下町の表通りに200～300枚も飾られたと言われていました。

迫力ある幕絵を楽しむことができるこの機会に、ぜひ、武田神社をはじめ史跡多い甲府を訪れてください。

◇展示期間◇

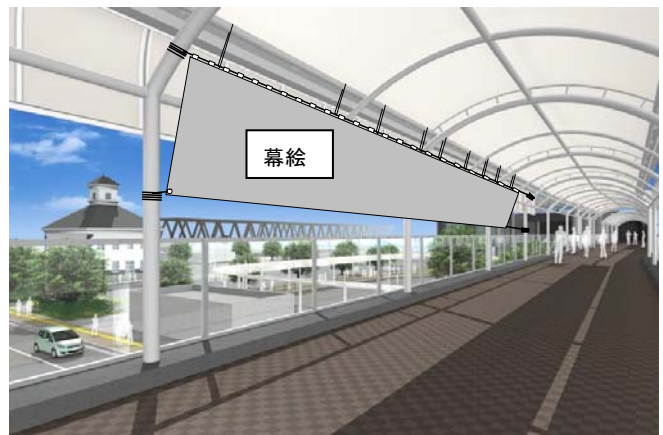
2011年12月26日（月）～2012年1月17日（火）

◇展示場所◇

甲府駅改札口前・北口ペDESTロリアンデッキ



改札口前展示イメージ



北口ペDESTロリアンデッキ展示イメージ

◇展示内容◇

（1）甲府駅改札口前

歌川広重筆「甲府道祖神幕絵 東都名所 目黒不動瀧」（複製）を展示します。



甲府道祖神幕絵 東都名所 目黒不動瀧（イメージ）

※実物は、山梨県立博物館所蔵ですが、甲府駅での複製展示にあわせて、2011年12月21日（水）～2012年2月20日（月）まで展示されていますので、ぜひ、実物もご覧ください。

(2) 北口ペDESTリアンデッキ

甲府商工会議所主催で、2007年～2010年（第1回～第3回）に実施された「幕絵コンテスト」の応募作品の内10点ほどの作品を展示する予定です。

◇主催◇

第28回国民文化祭山梨県実行委員会

◇協力◇

甲府商工会議所・東日本旅客鉄道(株)八王子支社

◆国民文化祭とは◆

全国各地から様々な文化活動に親しんでいる個人や団体が集まり、発表、交流する「日本最大の文化の祭典」です。昭和61年（1986）から毎年各都道府県持ち回りで開催されてきました。平成25年（2013）、全国初の通年開催（会期303日間）により山梨県で開催されます。

◆幕絵とは◆

幕絵は、江戸時代に行われた甲府道祖神祭のために制作されました。長さ10mにも及ぶ長大な幕を城下町の表通りに飾る祭りは、全国的に見ても珍しいものです。甲府城下全体では200～300枚もの幕絵が飾られたと伝えられています。

武家社会では陣幕が神聖な道具として扱われていたことから、一般庶民の間でも陣幕には不思議な力があると信じられるようになり、このため、幕絵は陣幕と同じ形で作られました。甲府城下町の町人たちは、幕絵を飾ることにより、災いが町に入るのを防ぐ願いを込めたと考えられます。

◆歌川広重筆「甲府道祖神祭幕絵 東都名所 目黒不動瀧」とは◆

天保12年（1841）、江戸の有名な浮世絵師である初代歌川広重は幕絵制作のために甲府城下町の町人たちに招かれ、江戸の名所を描きました。

今回展示した『東都名所 目黒不動瀧』はその時に制作された幕絵の複製です。

幕絵は小正月の甲府道祖神祭の際に飾られ、人々の目を楽しませましたが、世が移り変わり明治時代になると、甲府道祖神祭は華美であることから、明治政府によって禁止され、幕絵の多くは捨てられてしまいました。

現在、幕絵は3枚しか残されていませんが、その内の1枚が、初代歌川広重が描いた、この幕絵です。この貴重な資料は、当時の人気絵師を呼んだ甲府城下町の商人の繁栄ぶりや、城下町の通りを幕絵で飾る独特の祭りがあったことを今に伝えています。